

「分かった！」が広がる授業づくり

～つまずきを解消するためのICT活用を通して～

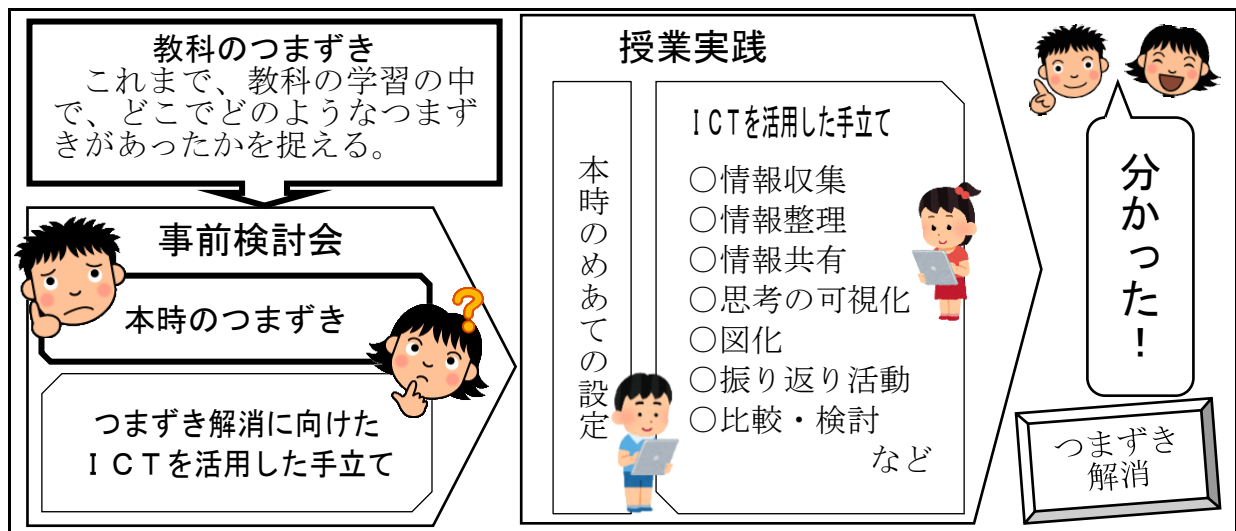
1 主題設定の理由

昨年度は、本時のめあてを達成できない原因を考え、そのつまずきを解消する手立てとしてICTを活用することで、研究主題である『「分かった！」が広がる授業づくり～ICTの活用を通して～』を目指して、実践に取り組んだ。

意見交流の場に焦点を当てた道徳の授業では、スカイメニュークラウドを活用した。ポジショニング機能を使って、考えの変化をより多くの友達と共有できるようにしたことで、自分の考えを表すことが苦手な児童も、めあてに迫る考えをまとめることができた。また、問題把握の場に焦点を当てた算数の授業では、ロイロノートを活用した。図を複製する機能を使って、かけ算の場面を図に表させることで、かけ算の考え方を定着させることができた。

しかし、ICTの活用方法を理解し、学習に生かすことができた反面、ICTを活用しても本時のめあての達成につながらなかった授業もあった。これは、想定したつまずきが本時のめあてと直結していなかったり、実践した教科におけるつまずきではなかったりするなど、つまずきの捉え方に課題があったと考えられた。

そこで、本年度は、研究主題を『「分かった！」が広がる授業づくり～つまずきを解消するためのICT活用を通して～』とし、児童のつまずきをしっかりと把握するための、事前検討会を行う。そして、つまずき解消に向けたICTを活用した手立てを講じて、児童の「分かった！」が広がる授業を目指していく。



【授業実践までの研究の流れ】

2 検証の方法

本時のめあてを達成することができたかどうか、児童の取り組みの様子や成果物から検証する。

3 ICTの活用例 (●：本時のつまずき、→：ICTを活用した手立て)

(1) 情報整理 6年生 社会 「戦国の世から天下統一へ」

● 調べたことを基に、戦国武将の思いや人柄などを考えることが難しい。

→ 整理するための視点を与え、収集した情報をロイロノートのY図やベン図を使って整理させることで、それぞれの武将の特徴や違いを捉えやすくする。

(2) 情報共有 2年生 図画工作 「はさみのあーと」

● 友達が作品の名札に書いた、作品に対する思いや工夫したことを読んでも、作品のどの部分のことを伝えているのか理解することが難しい。

→ ロイロノートを使って、作品の中の説明した部分と説明の内容を矢印でつないで作品カードを作り、それらを見ながら鑑賞することで、友達の作品のよさや工夫したところを捉えやすくする。

(3) 思考の可視化 1年生 道徳 「ただしいことはすすんで」

● 考えが変わってもよいことを理解することが難しい。

→ スカイメニュークラウドのポジショニング機能を使って、自分や友達の考えが変化している様子を見せることで、考えは変わっていくことを捉えやすくする。

(4) 図化 2年生 算数 「かけ算」

● 問題文の内容を理解することが難しい。

→ ロイロノートの図や、図を複製する機能を使って、問題文にそって図化させることで、問題文の内容を捉えやすくする。

4 研究の計画

教務主任(平林)・推進委員長(今枝)・部会長①(市橋)・部会長②(牧野)

(1) 研究組織



(2) 授業実践について

○ 一人一人の教師が研究を主体的に進めることができるように、一人1回公開授業を行う(12月までに)。公開授業以外にも、年間を通して、継続的に授業実践を行い、児童の変容をつかむようにしていく。

○ 公開授業は、「単元、指導計画、本時の目標、準備、指導過程」などを記入した簡潔な指導案を準備し、各部会で授業の3週間程度前に事前検討会を開き、つまずきと手立てについて検討する。また、授業後に事後検討会を開き、手立ての効果や課題を振り返る。

○ 各部会で、1学期と2学期に分かれて授業公開を行う。

(3) その他

○ 公開授業の様子について報告書にまとめ、1学期の実践者は中間報告会で、2学期の実践者は最終報告会で、成果と課題について発表し共有する。